

# 二十一世紀のまちづくり



横芝町長 實川 堅司郎

明けましておめでとございます。希望に満ちた平成13年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より町政運営に深いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、いよいよ本年は新しい世紀であります二十一世紀へと入って参りました。過ぎ去った二十世紀を振り返りますと、明

治34年から始まったこの世紀は、終戦を迎えた昭和20年までの半世紀はまさに動乱激動の時代であり、残りの半世紀は平和と日本建設の時代であったかと思われ

ます。耐えに耐え忍びに忍んで家族や地域の構築に、また、国の再建へと励んでこられた甲斐

あって、今や我が国は国際的な経済大国にまで至り、同時に長寿国として世界一にまでのほりつめることが出来ました。

さて、新たに迎えた二十一世紀は、情報化や少子高齢化社会の進む中、福祉環境とIT革命の時代とも言われております。

国においては、昨年暮れに第2次森内閣が誕生し、内外の政治・経済の揺れ動く中であつて、我が国経済も各種の政策効果の浸透などで、や、改善の兆しは見えつつあるものの、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるなど、予断を許さない状況下に見受けられます。

また、そのような中、県におきましても長期ビジョンを策定し「みんなでひらく2001年のちば」を大きな目標として二十一世紀における千葉県の更なる発展を目指して、県民一人ひとりの幸せづくりや地域の自立と発展を実現すべく取り組んでおるところでもあります。

また、町におきましても昭和62年より平成12年まで「豊かな自然、みなぎる活力、そして：心をつなぐまち」を基調テーマとして諸事業を進めて参りました。その間基本的な計画を第1次、第2次、第3次として、それぞれの年度の中で計画的に進めて参りましたが、平成の時代に入つて長引く不況の影響を受け、経済的には大変厳しい中

ありましたが、議会をはじめ各関係機関として町民の皆様の温かいご協力を頂き順調に推進することが出来ました。改めてここに深く感謝申し上げます。

さて本年は、議会や町民の皆様より種々のご協力をいただきながら進めて参りました町基本構想が昨年12月議会にて定められ、これに基づき、水と緑豊かな自然を大切にしながら「健康と快適なくらしの公園交流のまち・横芝」を将来像として、町民の皆様お一人おひとりが身心共に健康で文化的な楽しい生活が出来るよう諸事業を推進して参ります。

また、同時に進めて参りました都市計画事業につきましても、昨年度都市計画原案を県に提出して以来、町民の皆様への説明会の開催、素案の縦覧等行い、只今最終的な案の作成業務に入つております。今後は、案の縦覧等をいただきながら町都市計画審議会の議を経て、国・県の同意をいただき最終決定へと進めて参ります。

なお、平成13年度予算につきましても、只今予算の編成作業中でございますが、年頭にあたりまして平成13年度に計画しております主な事業の概要等を述べさせていただきます。

## ▼栗山川橋梁整備事業

横芝堰直上流、栗山川への町道橋整備（東陽病院脇）につきましては、光町と協議を重ねながら平成12年度から町事業として実施する予定でありましたが、一昨年の集中豪雨により栗山川上流域へ多大な被害をもたらしたことから、より河川改修事業の更なる推進が図られることとなりました。その結果、国道（新栗山橋）県道（栗山橋）及びJR橋の架け替えが重点的に実施される運びとなり、町道橋整備についても河川改修拡幅事業に併せ、千葉県に事業主体をお願いし実施することになりました。延長にして約120mの橋梁を平成13年度に下部工を、平成14年度に上部工を実施して完成させていく予定となっております。

## ▼JR横芝駅トイレ改修事業

現在のJR横芝駅トイレにつきましては設置後年数が大変経過し、環境的にもいろいろ取り沙汰されており、トイレ改修につきまして多方面より要望等があり、JRと協議・検討を重ねた結果方向付けがされて参りましたので、平成13年度なるべく早い段階に実施して参りたいと考えております。

## ▼農業集落排水事業の推進

木戸台・町原・小堤・牛熊・谷台各地区では、平成12年7月1日供用開始となり、同8月4日には「木戸台クリーンセンター」の竣工式典もめでたく終了